



3校（菅尾小・百枝小・新田小）合同社会見学

「安心・安全な魚現地研修会」に参加 ～養殖漁業にふれる～

運動会を終えて一息ついた10月4日（金）、菅尾小・百枝小・新田小学校の5年生が蒲江畑野浦及び竹野浦河内のヒラメとブリの養殖場の見学に行きました。この事業は、大分県水産養殖協議会・大分県漁協を主催として開催され、現地研修会（養殖場見学、試食会、勉強会）を通して水産業についての理解と県産養殖業に関する知識の向上を図ることを目的にしています。

養殖場のヒラメとブリのエサには「かぼす」を練りこみ、「かぼすブリ」・「かぼすヒラメ」の名で商標登録されていて、大分県の養殖漁業は全国でも盛んな県の一つとされているそうです。今回、子どもたちはエサを与えたり、沖にあるブリやタイのいけすを見学したりした後、昼食でブリ料理の試食会をしました。



魚養殖の現地研修会に参加して

菅尾小 5年 甲斐田 守 優

私がこの社会見学で心に残っていることは4つあります。一つ目は、船に乗っていけすを見たことです。ブリやタイなどいろいろないけすがありました。二つ目は、ヒラメの養殖場を見に行ったことです。ヒラメやトラフグがいました。ヒラメは全部いけすの下にひっついてるのがおもしろいと思いました。三つ目は、船に乗ってエサやりをしたことです。私は初めてタイにエサをあげました。エサはスルメイカのおいしかったです。四つ目は、勉強会です。勉強会では私も質問しました。育つまでどれくらいかかるか質問すると、「1年半ぐらい養殖をします」と答えてくれました。そんなに養殖をしたら、とても身がたくさんつまって、おいしいだろうなと想像しました。その他にもヒラメは7、8年のじゅ命であることや、保護色で天敵から身を守るなどいろいろなことを知ることができました。こんな貴重な体験ができることはないので、説明してくれた方にはもちろん魚にも感謝したいと思いました。



「安心・安全な魚現地研修会」見学を通して

百枝小 5年 藤田 雄 成

養殖業でおどろいたことが3つあります。1つ目は、ヒラメがエサを食べる時です。あんなにバシャバシャさせてエサを食べるのは、とてもおどろきました。2つ目は、そのヒラメの生産量がとても多いことにおどろきました。3つ目は、台風が来るたびに海にあるいけすを全て動かすことです。たくさんあるいけすを全て沖に出したりもどしたりすることは、相当時間がかかって大変だと思いました。この学習で学んだことを生かして、これからも勉強をがんばりたいです。ありがとうございました。



「安心・安全な魚現地研修会」 見学を通しての感想

新田小 5年 佐藤 友 希

10月4日金曜日に佐伯市蒲江の養殖場に行きました。始めは、陸上で養殖しているヒラメを見に行きました。ヒラメを見る前にトラフグを見ました。僕は「ブリ」と言ってしまいました。すると後の人に「これはフグだよ」と言われました。見てみるとフグでした。その後奥へ進むとヒラメがいました。エサをあげる時、ヒラメが飛び上がっていたのでびっくりしました。次に、ブリの養殖場に行くために漁船に乗りました。その時ゆれて少しこわかったけど乗れました。それにブリはポンポンポンとエサがスムーズに出せる機械があってすごかったです。ブリもヒラメと同じように飛びはねるのがとても速くてすごかったです。新田だけ沖に行けてよかったです。ご飯ではさしみは初めてだったけどおいしかったです。ぜひもっとさしみなどを食べたいです。

